

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公表番号】特表2013-523764(P2013-523764A)

【公表日】平成25年6月17日(2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-031

【出願番号】特願2013-502821(P2013-502821)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/138	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/02	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/20	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/135	(2006.01)
A 6 1 K	31/485	(2006.01)
A 6 1 K	31/4468	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/138	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	29/02	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	25/08	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	3/02	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/20	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	43/00	1 2 3
A 6 1 K	31/135	
A 6 1 K	31/485	
A 6 1 K	31/4468	

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ブプラノロールおよび／またはブプラノロールの薬学的に許容される誘導体を、そのR異性体のエナンチオマー過剰でまたはそのR異性体のホモエナンチオマーで含む、有効量の組成物を対象者に対して投与することを含む、対象者における体性感覚障害の治療に効果がある方法。

【請求項2】

前記組成物が、オピオイド受容体アゴニストをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記投与がさらに、オピオイド受容体アゴニストを同時投与することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記対象者が、体性感覚障害に対する感受性を示す関連のある遺伝子型スクリーニングを含むスクリーニングプロセスによって同定される、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

体性感覚障害に対する感受性を示す前記関連のある遺伝子型スクリーニングが、
ADR B 2、ADR B 3、COMTおよびそれらの組合せからなる群から選択される遺伝子に関して候補対象者の遺伝子型を判定すること；

体性感覚障害を発生させる感受性と関係する少なくとも1つの標準遺伝子型と前記候補対象者の遺伝子型とを比較すること；

を含み、前記標準遺伝子型が、ADR B 2 遺伝子型、ADR B 3 遺伝子型、COMT 遺伝子型およびそれらの組合せからなる対応する群から選択される、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

体性感覚障害の治療用の組成物であって、
(a)ブプラノロールまたはその薬学的に有効な誘導体と；
(b)薬学的に許容される担体と；
(c)前記体性感覚障害のための第2の治療薬と；

を含む組成物。

【請求項7】

前記第2の治療薬が、鎮痛薬、抗炎症薬、補助的鎮痛剤、アドレナリン受容体ベータ-2(ADR B 2)アンタゴニスト、アドレナリン受容体ベータ-3(ADR B 3)アンタゴニストおよびカテコール-O-メチルトランスフェラーゼ(COMT)修飾物質からなる群から選択される、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

R-tert-ブチル[3-(2-クロロ-5-メチルフェノキシ)-2-ヒドロキシプロピル]アミンまたはその誘導体、及びオピオイド受容体アゴニストを含む、体性感覚障害の治療に効果がある同時投与用組成物。

【請求項9】

対象者に対するオピオイド受容体アゴニストの投与から起こる痛覚過敏症の治療に効果がある方法であって、前記対象者に対し、前記痛覚過敏症の治療に効果がある有効な量のR-tert-ブチル[3-(2-クロロ-5-メチルフェノキシ)-2-ヒドロキシプロピル]アミンまたはその誘導体を同時投与することを含む方法。

【請求項 10】

対象者において無痛覚を介するため ADRB2 と 6TM MOR の相互作用を調節する方法であって、前記対象者に対し前記対象者において無痛覚を介するため ADRB2 と 6TM MOR の相互作用を調節するため有効な量の R - tert - ブチル [3 - (2 - クロロ - 5 - メチルフェノキシ) - 2 - ヒドロキシプロピル] アミンまたはその誘導体を投与することを含む方法。